



真庭市議会だより

第37号

平成26年
8月1日発行

まにわ



中和地域の振興事業に2,000万円

6月定例会で中和地域振興事業の2,000万円増額を含む一般会計補正予算が可決されました。

中和地域では、交流定住推進計画の実践プランとして、中和地域の振興を具体化します。地域、行政、地域再生マネージャー、地域おこし協力隊が一体となって、真庭市が目指す里山資本主義をベースとした中山間地域活性化のモデル地区とします。

写真は、雲海に浮かぶ津黒高原荘。スキー場から撮影。

主な記事

6月定例会	P2 ~ 6
各常任委員会報告	P7 ~ 9
一般質問	P10 ~ 22
議会の動き	P23
請願・陳情の受付等	P24

平成26年6月第3回真庭市議会

6月定例会

(会期6月9日から6月25日まで)

平成26年度 6月補正予算額

1億3,026万8千円を可決しました

	6月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	1億2,552万1千円	317億9,341万2千円	4.3%増
特別会計	1,061万5千円	161億3,004万0千円	2.5%増
公営企業会計	▲586万8千円	35億9,941万8千円	6.8%増

補正後総予算額 515億2,287万0千円
対前年比 19億4,321万3千円 (3.9%) 増

【今回の主な内容】

- ・国県等の補助に係る事業採択等によるもの、特に緊急を要する事務事業、人事異動等に伴う人件費及び機構改革による所管替え等についての補正予算案を可決

◆報告4件

報告第2号 平成25年度真庭市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

報告第3号 平成25年度真庭市公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

報告第4号 平成25年度真庭市水道事業会計予算繰越計算書について

報告第5号 専決処分分報告について

車両物損事故による損害賠償についての報告です。

◆推薦1件

推薦第1号 真庭市農業委員会の推薦について

小田康文氏、福井莊助氏、大石清子氏、樋口昌子氏を推薦しました。

◆議案18件(全て原案可決)

※()内は付託委員会名
 (総務)：総務常任委員会
 (文教)：文教厚生常任委員会

(産建)：産業建設常任委員会

議案第69号 真庭市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について(総務)
 真庭市政策アドバイザーの設置に伴い、その報酬を定めるものです。

議案第70号 真庭市税条例等の一部改正について(総務)
 法改正に伴い、軽自動車税の税率の引上げ及び法人市民税法人税割の税率の引下げ等を行うものです。

議案第71号 真庭市建設事業分担金徴収条例の一部改正について(産建)
 国の補助率が改定されたことに伴い、受益者分担金の率を軽減するものです。

議案第72号 字の区域・名称の変更について(産建)
 国土調査における合筆に伴うものです。

議案第73号 真庭市火災予防条例の一部改正について(総務)
 法令の改正に伴い、花火大

会等の多数の者の集合する催しに際する対象火気器具等の取扱いの基準を定めるほか、これらの催しのうち屋外で実施される大規模なものの主催する者に対して、防火担当者の選任及び火災予防上必要な業務計画の作成等を義務付けるものです。



41万1千円を計上しています。

議案第76号 平成26年度真

庭市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
歳入歳出それぞれ282万6千円を減額し、歳入歳出総額56億7,317万5千円を計上しています。

議案第77号 平成26年度真
庭市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ115万2千円を増額し、歳入歳出総額6億8,552万8千円を計上しています。

議案第74号 動産の買入れ
について
(総務)

消防ポンプ自動車を株式会社岡山森田ポンプから、3,326万4千円で買入れるものです。

議案第75号 平成26年度真
庭市一般会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ、1億2,552万1千円を増額し、歳入歳出総額317億9,3

千円を減額し、歳入歳出総額6,782万2千円を計上しています

議案第80号 平成26年度真

庭市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について
歳入歳出それぞれ187万9千円を増額し、歳入歳出総額10億8,867万9千円を計上しています。

議案第81号 平成26年度真
庭市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ840万円を増額し、歳入歳出総額18億9,518万4千円を計上しています。

議案第82号 平成26年度真

庭市温泉事業特別会計補正予算(第1号)について
歳入歳出それぞれ273万2千円を増額し、歳入歳出総額1億373万2千円を計上しています。

議案第83号 平成26年度真

庭市農業共済事業特別会計補正予算(第1号)について
収益的収入及び支出それ

ぞれ139万2千円を増額し、収入支出総額2億7,655万円を計上しています。

議案第84号 平成26年度真

庭市水道事業会計補正予算(第1号)について
収益的支出は、営業費用726万円を減額し、支出総額6億6,816万6千円を計上しています。

議案第85号 工事請負契約
の締結について(落合小学校)

落合小学校北校舎棟他の耐震補強・大規模改修工事について、株式会社酒井工務店と1億6千2百万円で工事請負契約を締結するものです。

議案第86号 工事請負契約
の締結について(勝山小学校)

勝山小学校校舎棟の耐震補強・大規模改修建築主体工事について、株式会社三木工務店と2億1千924万円です。

◆議員発議

発議第3号 2015年不
拡散条約(NPT)再検討会議へ唯一の被爆国民の願いに込め、核兵器全面禁止の提出について
請願第1号に対するものです。
原案可決

発議第4号 地方財政の充
実・強化を求める意見書の提出について
請願第2号に対するもの
です。
原案可決

発議第5号 手話言語法制定を求める意見書の提出について
請願第3号に対するもの
です。
原案可決



落合小学校

◆請願・陳情

※(一)内は付託委員会名
請願第1号 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める請願 (総務)

採択

請願第2号 「地方財政の充実・強化を求める」請願書 (総務)

採択

請願第3号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書 (文教)

採択

陳情第1号 これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書 (文教)

採択

陳情第3号 陳情書…真庭市ひまわり団地内位置指定道路の市道認定について (産建)

採択

陳情第4号 特定秘密保護法廃止を求める意見書採択 (総務)

不採択

(陳情採択に賛成した議員)

※議席番号順

原 秀樹 森田一文
福井莊助 妹尾智之
柿本健治 岡崎陽輔
(陳情採択に賛成しなかった議員)

氏平篤正・小田康文
福島一則・入澤廣成
築澤敏夫・河部辰夫
中尾哲雄・妹尾 昇
緒形 尚・池田文治
初本 勝・宮田精一
竹原茂三・古南源二
中元唯資・岩本壯八
草地秀育

【討論あり】

【陳情採択に賛成】

岡崎陽輔 議員

特定秘密保護法は、秘密の範囲は政府が勝手に決め、国民には何が秘密かも知れず、また、国民の知る権利と報道の自由を奪い、違反したら最高で10年の懲役に処せられるもので、特定秘密と

いうだけで国会の立法権や国政調査権を制限してしまうものである。国民の批判の高まりに法案修正とチェック機能の創設をしたが、秘密指定の恣意性という秘密保護法案の根本問題は何ら変わ

るものではない。秘密の指定を行うのも首相、その秘密をチェックするのも首相

になるものである。この法案は民主主義の根幹である国民の知る権利、言論表現の自由を脅かし日本国憲法の基本原理を根底から翻すものである。その狙いは海外で戦争をする国

につくりかえるため国家が強権的に情報を統制し、国民の言論・表現を規制するところにある。陳情者が指摘するよう

【陳情採択に反対】

河部辰夫 議員

世の中には言っていないことと悪いことがある。これが守られなければ日本の国にとって非常に危ない。グローバル化の世の中で多くの法人が海

真庭の地酒で

真庭の豊かな自然と美しい水
それを生かす本物の醸造発酵技術
日本酒やワインなどの地酒は
ふるさと真庭の誇りです
地酒による乾杯の習慣を広め
地域産業の発展と郷土愛の醸成
日本文化への理解の促進を図るため
「真庭市の地酒で乾杯を推進する条例」
を制定しました

乾杯はぜひ真庭の地酒で！

おいしい地酒は
真庭の誇り
まずは一杯
いかがでしょう

ひるせんワイン
ひるせんワイン(刺)
美保鶴
大美酒造(刺)
御前酒
瓶社本店
大正の鶴
瓶酒造場

【発行】 真庭市 真庭商工会 (一社)真庭観光連盟 飲酒は20歳を過ぎてから

真庭の地酒で乾杯！のポスター

外に出ている。昨年、特定秘密法ができたが、なぜかという

ことは皆さんご存知のとおり、アルジェリアにおいて現地法人の石油採掘会社ゲリラ集団に襲われた事件があった。日本人が集中的に狙われた。この施設は厳重な警護のもとにおかれていたが、

いとも簡単に侵入を許したのはなぜかという疑問があった。捜査の結果判明したのは、現地にいる日本の書記官がゲリラ組織に情報を漏らしていたということである。これを機に、日本政府とはうかつに

話ができないという諸外国の動きがあった。信頼関係が乱れることになれば国際社会の中で日本は孤立する。情報公開の時代ではあるが分別は必要。事件の重要性に鑑み再発防止のための措置としてこの法律は必要である。

陳情第5号 市道藤原南線の拡幅改良の要望について (産建) 採択

陳情第6号 市道差矢戸坂線の拡幅改良の要望について (産建) 趣旨採択



定例会の様子

陳情第7号 別所簡易水道
施設に関する要望書（産建）

採択

しないよう関係機関に意見
書を提出することを求める
陳情

（総務）
不採択

陳情第9号 集団的自衛権
についての憲法解釈変更を

（陳情採択に賛成した議員）
※議席番号順

原 秀樹・森田一文
福井荘助・妹尾智之
柿本健治・岩本壯八
岡崎陽輔

（陳情採択に賛成しなかった
議員）

氏平篤正・小田康文
福島一則・入澤廣成
築澤敏夫・河部辰夫
中尾哲雄・妹尾 昇
緒形 尚・池田文治
初本 勝・宮田精一
竹原茂三・古南源二
中元唯資・草地秀育

【討論あり】

【陳情採択に賛成】

岡崎陽輔 議員

本陳情は採択すべきものである。理由は3点である。

第一に、集団的自衛権の行使をするということはアフガニスタン戦争、イラク戦争のような戦争をアメリカが起こしたとき、自衛隊が戦闘地域まで行って軍事支援を行い、アメリカの戦争のために日本の若者の血を流すことである。日本の国を守ることも、国民の命を守ることもない。

第二に戦後日本の自衛隊は、60年間他国の人を一人も殺していない。また、一人の

戦死者も出していない。憲法9条があるからである。この国のあり方を根底から翻し、殺し、殺されるそんな恐ろしい国にはならない。

第三に立憲主義は憲法によって国家権力をしぼるものであり、国民をしぼるものではない。憲法解釈も時の権力者が自由勝手に変えてはならず政府の解釈改憲は許しがたい立憲主義と憲法の否定そのものである。

【陳情採択に反対】

河部辰夫 議員

なぜ集団的自衛権行使が必要かということは、抑止力ということを考えて場合ややはり必要である。戦後の日本は平和で目覚ましい経済成長を成し遂げてきたが、現在は違う。国際社会の中では日本を取り巻く状況が最悪になりつつある。平和外交が基本ではあるが、話ができる相手ではない。自国民の不平不満を外に向けて発散させる政策をとっている国が多々ある。それは歴史認識にのっとって日本に向けている状態である。経済発展には今は日本の協力は欠かせないが、いずれその必要もなくなる。

なれば強大な軍事力をバツクに日本に圧力をかけてくることは当然目に見えている。南シナ海でのベトナムとの領海争いであり、尖閣諸島や竹島の帰属問題である。様々な事態を想定し、適切な対応ができる仕組みを構築することが日本の安全保障上の緊急の要請であろう。それが集団的自衛権と言える。湾岸戦争では日本は130億ドルと巨額の資金援助を行ってきたが国際社会は評価しなかった。金は出しても人は送らないという日本の日和見的な社会が国際上認められないということである。これは、専守防衛の日本の国を守るために今とるべき措置である。

【陳情採択に賛成】

柿本健治 議員

日本は、憲法9条で戦争を放棄し、自国が攻撃を受けたときのみにかかわる専守防衛として戦後70年近く政策を展開してきた。その間、自衛隊員の一人の戦死者もなく、また、自衛隊による他国の人の殺害も一人もない。そういう世界にも数少ない日本の確固たる地位を築いて

総務常任委員会

委員会開催内容

4月21日及び5月23日に総務委員会を開催し、所管部署の出席を求め調査研究を行いました。

《 総 務 部 》

真庭市財政計画について

計画期間は、普通交付税が平成32年度から一本算定になることから平成32年度までとしており、平成29年度以降は財源不足が見込まれています。平成26年度の普通交付税は14億6,700万円を計上しているが、平成32年度には103億3,000万円、約38億円減少すると見込まれています。平成32年度の歳入総額は、約236億で、平成26年度に比べ約100億減少せざるを得ないという試算になっています。歳出の普通建設事業費は、決算割合で試算すれば平成32年度には20億程度

しかできないことになるが、新総合計画の策定に合わせながら将来の見直しを見直していきたいということでした。

《 会 計 課 》

基金の状況について

平成26年3月31日現在の基金総額は、約197億9,500万円余り。公金の運用については、まだはつきりとした運用方針が出来ていないので、今年度中の早い時期に公金の運用会議を開催して管理・運用を決定していきたいとの報告がありました。

《 総 合 政 策 部 》

総合計画の策定について

総合計画審議会の委員は、28名を予定しており、5月30日には準備会議を開催する予定である。総合計画推進本部と職員の仕事チームとして、総合計画策定プロジェクト

チームを設置している。総合計画策定ものがたり会議は、市民に参加を呼びかけて現在33名の応募があり、メンバーは増えている状況にあります。また、今回の計画策定では高校生を対象にしたワークショップの開催も予定されています。パブリックコメントを9月に予定しているとのことでした。

地域活性化モデルケースについて

国では今、中山間地域支援、高齢化・人口減少社会の対応が一番大きな政策課題として取り上げられています。基本的な考え方の大きなテーマは「超高齢化・人口減少社会における持続可能な地域社会の形成」を積極的に進めることにあります。地域活性化モデルケースに選定されれば制度的支援や各省庁の補助制度を使って優先的に支援が受けられ

育 秀
勝 陽
輔 辰
尚 智
夫 唯
之 資
文 一

地 草
本 初
崎 岡
形 緒
部 河
尾 妹
元 中
田 森

長 員
副 員
委 員
委 員
委 員
委 員
委 員
委 員

るといふものです。真庭市は5月29日に、循環型の地域づくりを通じた「真庭ライフスタイル」の構築と交流定住の促進というタイトルでモデル地区に選定されました。

中和地域振興事業について

津黒高原を中心にして、中和地域の魅力や資源を活かして、地域全体で地域振興事業を展開するものであります。目的は、地域内での資源循環、経済循環が生まれること。そして、それが継続的に進められる体制をこの1年間で確立していくよう考えられています。推進体制は、昨年度から関係者で協議し、地域と行政が一体となってやっていく方向性が出されており、今年度当初の中和地域づくり委員会総会でも説明され、合意がされています。

全体の目標は中和地区全体の交流移住を促進することとあり、重点事業として一、津黒高原に薪ボイラーを導入し地域資源の活用と新たな生業を創出する。二、地域活性化を持続的に進めていくコーディネートができる人材の育成と、そこに暮らすノウハウ、農作業の技術などを伝えられる体制づくり。三、企業研修や農業体験、環境学習の場をつくり都市住民や企業との交流事業を進めるといふものであります。



津黒いきものふれあいの里

文教厚生常任委員会

委員会開催内容

文教厚生常任委員会では4月23日、5月10日に委員会を開催し、各部署の出席を求め今年度主要事業の概要等について説明を求めました。



7月4日川上小学校の現地視察の様子

《教育委員会》

学校教育課

確かな学力の育成を最重

点課題として捉え、学力向上関係事業として全普通教室へプロジェクトを配置してわかりやすい授業の創造や、小学校3年生から5年生まで学力調査を実施し、課題の把握と早期の克服を目指す。また、長期休業日の短縮による学習機会の充実を図っていくという説明がありました。

教育総務課

真庭市小中学校給食施設整備計画については、蒜山中学校と川上小学校、湯原小学校と二川小学校、八束小学校と中和小学校の三つの給食施設の統合に向けた取り組みをスタートしたとの報告がありました。

《健康福祉部》

健康推進課

AED(自動体外式除細動器)の維持管理について、平成26年度から順次リース管

理に移行予定であり、今年度中に21台を移行予定であるとの説明がありました。

高齢者支援課

平成26年度は第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、高齢者に関する施策を総合的、計画的に事業を推進することにより、介護保険事業の円滑な運営を行う。平成27年度に介護保険制度の改正が予定されているので、新しい介護予防・日常生活支援総合事業などの検討を行いたい。要支援の方の訪問介護やデイサービスが給付から外れ、地域支援事業に移行されるため、今年度早急に検討し内容を固めてまいりたいとの説明がありました。

子育て支援課

就学前の保育施設において、地域ごとに格差の無い一定水準の保育内容を保障するとともに、就学前教育と小

夫正八治 昇雄 樹一
敏篤 壯健 哲秀 精
澤平 本本 尾尾 田
築氏 岩柿 妹中 原宮
委員長 員員 員員 員
委員 副委員 委員 委員 委員

《生活環境部》

くらし安全課

学校教育との円滑な接続を図ることを目的に、全体的な構想および基本方針となる「真庭市保育カリキュラム全体構想」を策定した。この構想に基づき、それぞれの園において創意・工夫のもと保育を実践し、本市の未来を担う子どもたちの健やかな育ちのために、その充実を図っていききたいとの説明を受けました。

環境課

真庭火葬場建設のための水路移設工事と実施設計の業務委託の発注を予定している。北部火葬場については火葬場建設工事の発注を予定している。

新たに生活総合相談窓口を設置した。どこに行っても相談しやすいか分からないという相談のワンストップ窓口となり、担当課や専門相談機関を紹介させていた。生活の困りごとが複雑化・長期化するなど対応事業の困難性が高まってき

ており、関係各課が話し合い総合的、一体的な支援を行うための調整機関となるようにしたい。26年度は、組織体系づくりや要綱等の整備を行う予定であるとの説明でした。

スポーツ・文化振興課

新規事業として、真庭市文化芸術祭スターティング事業を計画している。市内各地で行われている文化祭や各種団体が主催する文化事業を一元的に管理・情報を発信する仕組みづくりで、市民参加型の事業を計画しているとのことでした。

産業建設常任委員会

委員会開催内容

産業建設常任委員会では、先般3月26日、4月28日、5月20日、21日に委員会を開催し所管事項の調査研究を行いました。



5月20日 林道の現地調査(川上地区)

《産業観光部》

■北房ダム小水力発電事業について

農林土木課からは、北房

ダムの小水力発電事業について25年度に実施した、収支についての調査報告があり、また、通常の河川維持流量+既設の頭首工でとる水の水量で賄うこととし、最大出力39.7キロワットのもので採算が取れるかどうか検証した結果、8,846万9千円の事業費から国県補助を差し引いた額について10.5年で元が取れるとの結論に至ったため、事業を進めることとし、今後、水利関係者、地元関係者と調整していききたいとのことでした。

この件については、委員から、委員会で視察した山梨県の発電所では、水量があるにも関わらず最大の三分の一程度の能力でしか運転できていない。常に最大出力でフル稼働とは考えられないが、本当に採算がとれるのかとの指摘を行いました。

■「真庭の森林を生かすICT地域づくりプロジェクト事業」について

農林振興課からは、昨年度実施した、「真庭の森林を生かすICT地域づくりプロジェクト事業」について報告がありました。

これは、総務省の実証委託事業「ICTまちづくり推進事業」の採択を受けて実施したもので、真庭市では、地域材の安定供給・流通の拡大と、来年度稼働するバイオマス発電の燃料の安定供給・確保を行うために、森林に関する情報を集積させたサーバーをインターネットで市役所と森林組合を結び、地図情報とそれに属する情報を電子化して共有できるGIS(地理空間情報システム)を中心に構築しています。

航空写真、地番現況図、森林計画図(林班図)、森林簿、地形図、過去の森林の作業履

- | | |
|------|------|
| 則成治文 | 二三修助 |
| 一廣文康 | 源茂 莊 |
| 島澤田田 | 南原尾井 |
| 福入池小 | 古竹長福 |
| 委員長 | 委員 |

歴、作業道の台帳などを電子化して取り込んでおり、これにより、森林保全と施業に関する作業を大幅に効率化することができるようになるとのことでした。また、森林簿のデータを基に森林資源量の予測を図示化できるシステムも作成しているとのことでした。

今後、森林・林業関係者と連携してICTの活用を継続的に推進していき、さらに地番現況図の利用環境の活用について農業分野でも調査研究を進めたいとのことでした。

この件については、委員から、北房地域は備北森林組合であり、全く関係ない話なのかとの質問があり、執行部からは、北房地域については、備北森林組合において森林経営計画ができていないため、

め、地籍図や森林簿は入っているものの、計画、施業履歴などについてはこれからという現状である。活用していた、だきたいと思っており、森林経営計画も立てやすいような形で提案をしていくとのことでした。

《勝山支局》

■観楓荘の利活用について
勝山支局から、神庭の滝にある施設、観楓荘の利活用について説明がありました。

観楓荘は、昭和52年に建築された鉄筋コンクリート造り2階建ての建物で、現在は1階の食堂部分のみ無料休憩所として利用している。

今回、倉敷でゲストハウスを経営している方が「勝山ゲストハウス構想(仮称)」を持たれ、観楓荘を貸し付けてほしいという申し出があった。

構想の概要は、1階は作家の創作活動や体験、作品の展示等を行うワークスペースとギャラリーとし、2階はゲストハウスとして旅行者の宿泊施設を考えておられ、支局としては、貸付について前向きに検討しているとのことでした。



真庭市議会 6月定例会

一般質問

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています

草地秀育 議員

官製談合はあつてはならない

問

官製談合防止について市長に伺いたい。

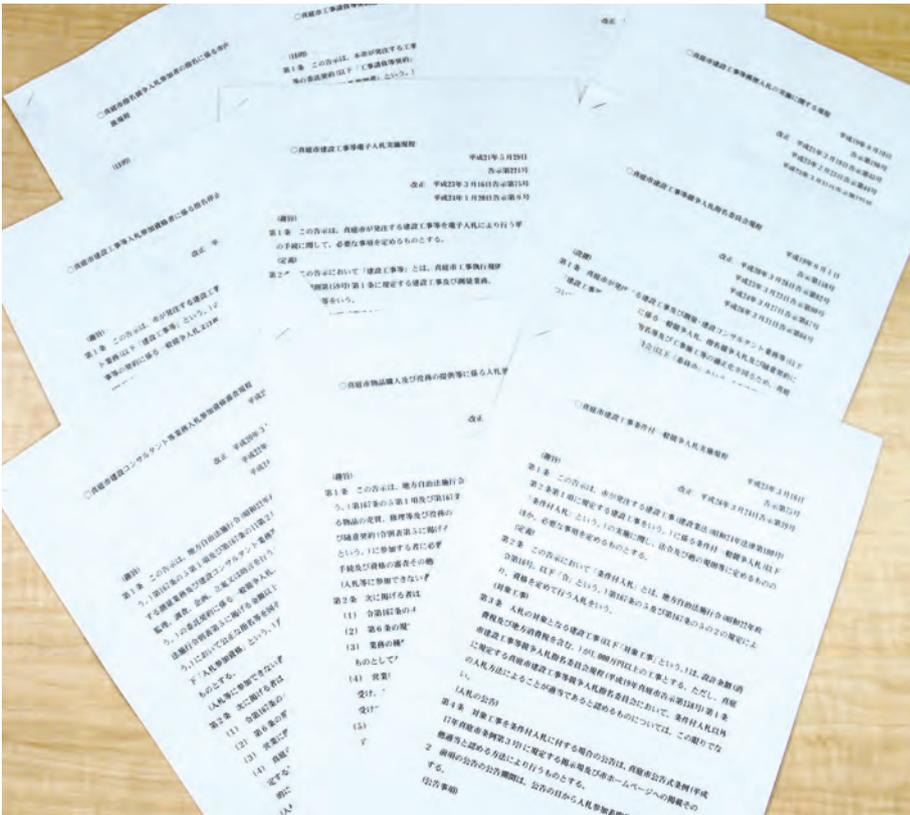
① 真庭市において官製談合はないか。また、その危険はないか。官製談合についてどのように考えるか。

② 真庭市の不当要求対策とコンプライアンスに関する規定は。

③ ②の徹底のための職員研修の状況を示されたい。

④ ガバナンス機能は万全か。

⑤ 入札を監視する第三者委員会の設置の考えは。



真庭市の入札関係の規程

問

⑥ 真庭市でもアンケートを実施し、実態把握すべきではないか。

答

太田市長

① 官製談合はあつてはならないこと。公金を使う場合は公正で平等でなければならぬ。刑法上の問題であり許されないと考えている。入札関係の規程を見ているが、基本的にはよく整備されている。工夫もされておられる。工夫もされないと。引き続き緊張感をもって公正、公明な工事発注、入札も含めて行っていきたい。

② 真庭市不当要求

行為等対策規則を作っており、その中で不当要求行為等防止責任者、部局長を置き、職員の職務の公正な執行の確保のために適切な指導、監督を行うようにしている。各課に対策推進員を置き、その責任者を補佐することにしている。また、この規定により対策委員会を設置しており、警察署、その他の関係機関と連携を図ることとしている。

③ 研修については、県警本部等の協力を得て毎年講習会、行政対象暴力責任者講習を実施している。

④ 建設工事の実施に当たり真庭市建設工事執行規則を始めとする様々な規則、規程に基づいて適正に執行している。日常のチェックを所管部局長あるいは監査委員で十分行っている。

⑤ 真庭市の規模で第三者委員会を置く必要は今のところないと思っている。自治法の第199条第5項の規定により随時監査調査することとしている。

⑥ アンケートは現時点で必要ないと思っている。

古南源二 議員

**真庭版相互扶助の
仕組みを考えたら
どうか**

問

笠岡市のNPOでは介護保険の対象とならない生活課題を相互扶助の仕組みで解決している。子どもから高齢者まで色々な階層の方で行う真庭版の相互扶助の仕組みを考えたらどうか。

答
太田市長

公費を使って生活支援サービスをするには限界がある。真庭に合うような形の相互扶助の仕組みを十分検討し、それぞれの地域で実現して行けるように早急に検討し、導入できるものは導入していきたい。市民活動プラザもあり、身近なところでNPOとか福祉団体とか作っていたらいい。協力を調整するコーディネーターが必要だ。お互いに情報を共有しながら工夫し、試行錯誤でやっていかざるを得ない。

**AEDの設置場所を
消防指令所に登録し
市民へ公表を**

問

消防署によれば心肺停止などでAEDが必要と思われる事案は年間70件程あると聞く。AEDの設置場所の一覧表は把握しているが、救急指令のパソコンには入力していない。神戸市ではパソコンに入力して救急要請の時、必要ならば近くの設置場を伝えたりしている。救急受付が統合され圏域3消防署の足並みがそろうことは難しいと思うが、データの入力と設置場所一覧を市民に公表してはどうか。

答
太田市長

AEDの設置場所の公表については、講習会も地域で行われるので一定地域の設置場が分かる物を配布していく。市勢要覧の見直し、真庭市防災マップへの掲載も含め、色々な手段を使ってどこにあるのか分かるように工夫していきたい。AEDの設置状況を美作地区消



市民活動支援プラザ

防指令センターの指令台に入力することは可能だ。美作地区3消防本部協議会で前向きに検討を進めていきたい。先進事例もあるから

個々の課題を克服しながら早急に入力が出来、消防指令で対応できるようにしたい。実現したい。

妹尾 昇 議員

**30年後の人口減少問題の
対応を問う**

問

地方から大都市への人口流出が現在のペースで続けば、30年間で20から39歳の女性が半分以下になる自治体は896市区町村になるという試算が発表された。真庭市も20歳から39歳の若年女性の人口変化率はマイナス52.1%と衝撃的試算である。子どもを産む女性が半分になることは、当然人口減になる。

市長は自然減は避けられないが社会増に繋がる対策をとり、人口流出防止と移住者呼び込む政策を目指すというが、各自治体も同じような対策を取りしのぎを削っているが結果が見えない。社会増の対策も必要であるが、自然増のために出産・子育てをしやすい対策として保育料の無料化を提言する。



砂場で遊ぶ園児（落合こども園）

答 太田市長

就任当初から人口減少対策を最大の政策課題だと、全ての施策をそれに結びつけていく準備を進めてきた。最大の政策テーマは交流定住である。交流定住推進計画を策定し推進本部を立ち上げ、それを担う交流定住推進室を設置し各支局に分室を置き活動を開始し

ている。地域おこし協力隊も入れている。保育料の無料化については真庭市の財政が今後持続的に健全な状態で維持できる、その姿を創らないと大きな財政負担になる。中学校までの医療費の無料化、これは流行になって効果は出ていない。議論をしながら子育て環境を整える。

問 手話言語条例の制定を

手話は音声言語である日本語と異なる言語であり、耳が聞こえない、聞こえづらい聾者が物事を考え会話するときに使うものとして育まれてきた。手話を市民が使いやすい環境にしておくことは、市の責務と考え条例制定を望む。

答 太田市長

聴覚障がいに対する理解を市民に広げて、誰もが生活を営む上でできるだけ不便さ、不都合さを感じない社会をつくるのが大切と考える。

岩本 壯八 議員

問 投票環境の改善について

昨年参議院選挙での本市の投票率は前回より8.58ポイント低下。身近な真庭市議会議員選挙でも平成17年から投票率が12ポイント低下。投票率下落傾向は全国的。特に、地方選挙で顕著。要因の一つが政治的無関心、無力感と言われている。投票所の大幅減少も大きな要因。

①期日前投票制度が創設され、本市でも投票者の4割近くの人が利用。各自治体では投票率向上のため期日前投票宣誓書を入場券裏面に印刷し、事前記入をして持参し投票できるようにしている。記入に時間がかかる方や字が苦手な方に配慮している。本市でも対応を②投票所で緊張し、誰に投票するのか忘れるという声を聞く。候補者氏名を記載したメモ、ピラなどを投票所に携帯し、見ながらの

記載を可能に③医療、介護施設などで行う不在者投票で公正に行われるためにも、外部立会人の申し入れを行うべきだ。

答 原選挙管理委員会委員長

①裏面に印刷するには期日前投票の説明を別作成する必要がある。事務簡素化や経費の面も含め検討したい。②本人のみが確認できる大きさであれば禁止はされていない。③巡回指導を続け、制度の周知を図り、依頼に対応したい。

問 建設残土処分場の状況について

建設現場では残土が発生する。特に、河川浚渫工事では大量の残土が発生。処分場確保が事業推進上の障害になっていないか。①市営残土処分場の寿命見通しは。②市営残土処分場の新設計画は。③満杯の残土処分場の活用は。

答 太田市長

①今後の受入可能期間は久世第2残土センターが約7年、その他2つは約1年と残り少ない②南部に候補地を検討中。北部は珪藻土採掘跡地を利用。③市の財産で有効活用し、住民にも不安を与えないよう考えたい。



久世第2建設残土センター

柿本健治 議員

第6期介護保険計画と社会福祉協議会のあり方について

問

今年3月社会福祉協議会に対する助成の適正化に関する基本方針を策定しているが、適正化に関する基本方針では平成30年度までに支所数、人員などを適正化し削減を強く要望。今年度1億2,000万の予算を平成30年度は6,000万円を上限とし、補助金は平成26年度比2,171万円減、負担金は1,244万円減としている。委託料は現行同額を計画しているが、財政基盤の脆弱な社協にあって財政支援措置が大幅に削減される中で委託事業の実施が困難になるのではないか見解を問う。

指定管理施設の特養「やすらぎ」について平成29年度までに採算が見込めない場合廃止としているが、住民ニーズに逆行しているのではないか。特養「やすらぎ」は真庭市の施設であり社協に提示するものではないと

考えるが見解を問う。草加部地区の避難所にもなっている「百楽苑」に対する助成も平成27年度で廃止



特別養護老人ホームやすらぎが設置されている湯原保健福祉センター

するとしているが、年間3万人近くが利用している施設の管理が困難になることが予想されるが、建設経過を踏まえた対応が必要と考えが見解を問う。

社協などの福祉関係職場の多くは女性の雇用の場ともなっており日本創生会議が警鐘を鳴らしているように、若年女性の都市一極集中を収束させる施策実施が求められており、若年女性の就労の場として提供努力が必要ではないか伺う。

答

太田市長

社協は行政と同じでは困る。交付税の大幅な減額の中で財政支援措置を段階的に削減したいと考える。指定管理も施設のあり方を見直しの方向で検討している。特養「やすらぎ」は建設時採算の合わない作り方をしている。百楽苑は収益事業施設として運営されるべきで、27年度で打ち切る内示をしている。若年女性の就労については国の施策全体の中で考え雇用に結び付ける。

河部辰夫 議員

美作建国1300年事業の検証

問

建国1300年事業は、華々しく打ち上げていたが、効果はあったのか。

答

太田市長

大事なのは、その成果というものを小さいものでも大きく出来るようなものがあれば、それを頑張って大きくして、次につなげていくことが大事である。ある意味では美作地域の10市町村の行政、各種団体が連携して多くの行事に取り組んだということが成果である。

湯原温泉の対策について

問

美作三湯で名を馳せた湯原温泉であるが、今は見る影もない。市は観光客500万を目標にしている。この目標

達成のためには担当部署も本腰を入れて抜本的な対策を執るべきである。

答 太田市長

私も非常に危惧している。江戸時代には東の草津、西の湯原と言われたぐらい



真庭市とワコールが共同開発した湯あみ着の発表会の様子（湯原温泉砂湯）

有名で、非常に繁盛していた。それが今の現状を見ると非常に厳しいと思う。私は行政として頑張る。けれども観光なり、町づくりの基本は、そこに住んでいる人、事業をしている人達が一生懸命にならないと、そ

れもリーダーがいて、まとまって町づくりをしないと駄目である。湯原をもっと活性化したいという思いは一緒に一致している。今後、提案されたものも含めて検討する。

問 学力テストの結果について

我が真庭市では公表されなかった。なぜなのか。また今後について問う。



答 沼教育長

まだ全国の結果公表は行われていない。8月下旬ごろの全国の結果公表と合わせて各市町村の結果も返却される予定である。結果は、教育の成果や課題を市民全体で共有し、児童、生徒をよりよく育てる立場から平均正答率、学習習慣、テストから見た課題に対応する方針等を積極的に公開する。

池田文治 議員

問 災害に強い、多彩な真庭、経済が循環する都市づくり

集中と選択という中で、真庭市誕生以来、都市計画による都市づくりが薄い。他都市との競争という点で将来への希望づくりに中心市街地は必要と考えるが、総合計画に入れられるのか伺いたい。

答 太田市長

その発想で行う。都市づくりは観点が三つある。1点は、皆さん安心して暮らせるなど実感が湧くまちづくり。災害に強いことは必要と思う。2点は、真庭市のそれぞれの地域が特徴を持つている。多彩な真庭と呼んでいる。多彩性を尊重し、中心市街地をハブとし、地域をネットワークで結ぶ都市づくりが必要である。3点は、真庭市内で経済

が循環する事と強めていく事が必要である。

問 下水道加入率が40%、市が潰れる



久世浄化センター

新総合計画の策定を26年度中に、団塊世代も65歳以上となる本年、さまざまな課題が大きくクローズアップされる今日、下水道事業は今後何年で終了と考えるか伺いたい。

答 太田市長

公共下水道の赤字が3億円を超え、農集も1億円。下水道は都市基盤整備をする事であるという事を住民の方に理解していただく必要がある。国は10年と言っているが、下水道処理区域の見直しをやる。加入率が40%という下水道では市が潰れる。



真庭市コミュニティバス まにわくくん

問 まにわくくん、色々な方々のご意見をもとに検討する

まにわくくんは地域によって大変好評ですが、乗り継ぎルートでは不満もある。市民負担の公平性は。

答 太田市長

幹線の委託費用が利用者一人当たり350円、枝線は930円。住んでいる地域によって不利が出るという事は、ご理解戴きたい。空気を運ぶような事はしたくない。色々な方々のご意見、対策等、会議でも検討する。

現在病院外での心停止は年間2〜3万件ある。心停止の多くは心室細動であり、心臓蘇生に有効なのが、人口呼吸やAEDである。市内のAED設置数は165台で有るが、まだ不足状態と考える。市内では、公共施設等に配置されているが、夜間は使用不可能状態である。希望する家庭や個人商店、中小企業等身近な場所に設置して戴き、何時・如何なる場所や時間帯に必要になっても使用できる環境整備が必要と考える。市民全員がAEDを使用できる環境整備

問 AED(自動体外式除細動器)の設置補助の発想は

原 秀樹 議員

やAED設置に対する補助制度の発想及びAED設置の医療費控除制度の周知について伺う。

答 太田市長

AEDを最大限活用して命を救う事は、大変重要である。如何に設置場所を増やし周知し、使える様にす

るかが課題である。自主防災組織や商工会等と協議をすると共に、24時間何処でも使うことが出来る様に、体系的に進めていく。また医療費控除制度については、広真庭を含め周知、情報提供を行う。



市役所1階に設置されているAED

移動サービス事業者の登録審査の権限移譲について

問

「地方分権推進一括法」の可決により、平成27年4月より「移動サービス」事業者の登録審査を希望する市町村に委ねる権限移譲がなされる。交通手段の確保として、現在実施されている「まにわくん」や「福祉移送サービス」では、まだまだ賄いきれてない。

今後は民間活力を導入し「官民協働」での交通手段の確保が必要である。この制度に対し市は積極的に手を挙げるべきである。市長の見解を伺う。

答 太田市長

真庭地域で、いかに市民の足の便を確保するかは重要な課題である。市としては、権限移譲して貰い、積極的に対応し、フル活用して行く。

竹原茂三 議員

学力向上に重点を置き、実施していく必要がある

問

本年度から各学期に一回土曜授業が実施される。土曜授業実施一覧表を見ると、一学期は授業参観、学校公開や公開授業、二学期は学習発



学校向けに教育委員会が発行している教育情報紙「まにわの子」

表会や文化祭、三学期は一学期と同じが大半を占めている。市長はたびたび土曜授業を実施すべきと言われているが、どのような土曜授業を描かれていたのか伺いたい。教育委員会はどのような目標を持って土曜授業を実施しようとしているのか、また子ども達に「教える」という意識から「学ぶ支援」へと教育の意識改革をすべきと思うが、教育長の見解を伺いたい。

答 太田市長

土曜授業の実施は未来を担う子ども達が知・徳・体のバランスのとれた成長をし、生きる力を培うために必要と考えている。当市としては学力向上に重点を置き、これを実施していく必要がある。教育の本質は未来の大人を育てることである。

答 沼教育長

全ての子ども達に確かな学力をという願いを学校、家庭、地

域の力で成し遂げるために実施していく。各教員は学校生活で学びを支える集団づくりを追求している。その意味では学ぶ支援を重視した教育への転換が図られつつあると認識している。

制度改正後には教育振興施策大綱を策定する必要がある

問

現在国会で地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正が提案され、改正される公算が大である。この法律案が改正されると、首長の教育行政の責任が大きくなるが、総合教育会議の設置・大綱の策定をするようになっているが、検討をしているのか伺いたい。

答 太田市長

最終決定に至っていないので今のところ検討してないが、制度改正の後には教育振興施策大綱を策定する必要がある。制度改正がなされることを前提に頭のトレイニングをしていく必要がある。

緒形 尚 議員

教育の再生 学力向上について

問

真庭市においては豊かな自然環境や歴史、文化遺産、先人の教えなど、数々の教育資源を市内全域で享受できる環境の整備を進めていくため、教育基本法に基づき真庭市教育振興基本計画を策定している。子どもたちの教育環境の整備、学力の向上、いじめ、不登校問題への対応、特別支援教育の推進など、昨今の多様化した教育課題に適切に対応する施策を行い、質の向上に向けた取り組みを行っている。

しかし、全国学力・学習状況調査結果においても全教科で全国平均を下回るという深刻な結果が出ている。真庭を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の3要素から成る生きる力を育むためには学校だけでなく、

家庭や地域など、社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切である。特に、知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ自ら学び、主体的に判断し行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めた確かな学力を育むことは最重要課題である。真庭市として、全ての子どもに確かな学力を身につけるための施策や取り組みについて、現状どうなのか、今後どうするのか、教育長のご所見を伺う。

答 沼教育長

確かな学力を育むことは、真庭市の最重要課題と考え、さまざまな取り組みを推進している。各学校で授業改善と集団づくりを継続して取り組みつつ、学力調査結果に見られた課題対応を進めている。今年度から新たに土曜授業、長期休業日の短縮、指導

機会の充実と子どもをよりよく育てるといふ点で、家庭・地域連携の強化を進めている。また学習習慣、読書習慣、生活習慣等、家庭

と協力して育成する。課題は刻々と変化しており、それに対応する改善施策もスピード感を持って取り組んでいく。



実力テストを受ける生徒 (湯原中学校)

初本 勝 議員

問 高田城について伺う

このたび高田城の一部ではあるが、発掘調査が実施された。いい結果発表を期待している。真庭市内に山城、館を含めると105程度の史跡があり、高田城は政治的、文化的、規模的にも立派な価値があるものと認識しており、この城を、市民、観光客の皆様知ってもらふ施策をと思っている。

市民の立場から思うと、唯一城に関係した石積みがあるのはこの高田城だけと認識しており、当時存在したであろう建築物と思う。一方、貴重な史跡であるので、県の文化財の指定を望んでいるが、文化財指定を思うと、構築物というのとはよくないようで、勝山に高田城があったという認識を広めていただきたい。

答 太田市長

真庭市の地域資源、特に歴史的な資源を使って真庭の活性化、観光振興をというところでいろいろ提案いただくことは非常にありがたいことである。高田城は、美作の西部の主要な城郭であった。真庭では一番立派な城跡であり、明和元年、後期の三浦氏が入って城下町として発展してきた経緯がある。現在23年から4年計画で地形測量、発掘調査を実施しており、本年度は最終年度であり、調査結果を盛り込んだ報告書を出そうと、現在資料の整理等を進めている。

この調査で得た資料もとにパンフレットや案内板の設置を行うとともに、現在眺望があまりにも悪いため、史跡であることを前提に、一定樹木を伐採できないかと思っている。今、勝山全体で町並み保存で頑張っているから、そのコースにもうまく組み入れる形で、市民、観光客に訪れていたきたいと思う。建築物の復元は、資料もないので困



高田城三の丸遺跡

難であり、今出た遺跡は埋め戻し、大事に保存したいと思う。県指定の可能性は、

今は分かりません。史跡の保存整備に努め、魅力あるものにしていきたい。



支局の窓口

職員が市民目線で業務に当たるよう取り組み

小田 康文 議員

先日真庭市役所のある部に電話をした。民間企業で有れば当たり前の対応が全く出来ていない。不在者の帰着時間を知らせる、代わりに用件を伺う等の対応が

できないでいる。真庭市誕生から10年目を迎えてもこのような接客、接遇しかできない職員がいまだに存在していることは非常に不愉快である。真庭市職員の接客接遇研修の実施況と市長の見解を伺う。

答 太田市長

採用時の初任者研修のときに、接遇を勉強させている。25年度にも市民課、税務課、支局など窓口対応担当者を対象に、窓口対応スキルアップ研修を実施した。人材育成に特効薬は無いが、職員一人一人の意欲を引き出しながら、市民目線で業務に当たるとような取り組みをしていきたい。

問 学校給食共同調理場化は万全を尽くして対応する

4月25日から余野、櫻邑両小学校を受配校としての給食の配送が始まったと聞いている。これまでの経過と対応、そして今後真庭市教育委員会が学校給食共同調理

場化に向けて取り組む基本的な姿勢について伺う。



答 沼教育長

真庭小・中学校給食施設整備計画をご理解いただくために、余野小学校のPTAの方には5回、櫻邑小学校PTAの方には3回の説明会を実施した。給食配送の実施前から課題となっていた、櫻邑小学校の軒が浅く雨天時にワゴンが濡れるとの指摘については、安心・安全な給食を提供するために不備があった事は深く反省している。軒を継ぎ足す工事を安全管理上、夏休みに実施するよう準備を進めている。次に計画を実施する学校については、色々な面からの点検、或いは専門的な分野からの業者点検等もしながら、この計画にご理解いただけるよう万全を尽くして対応していく。

妹尾智之 議員

地域包括ケアシステムについて

問

① 地域包括ケアシステムに対して真庭市はどのように考えているか。

② 制度的に分担される各サービスや関係機関との連携の仕組みはどのように考えているのか。

③ 認知症の早期診断のために認知症検診が行われているが、実施状況と今後の取り組みについて。

④ 高齢者の定期的な安否確認や緊急時の対応、見守りや買い物等の生活支援、認知症の人に対する財産管理や権利擁護の取り組みについて伺う。

答 太田市長

① 社会保障制度の、社会保障の水準を落とさないようにしながらやっていく。

② 医療機関との連携とというのは重要であり、医師会に限らず、歯科医師とか

薬剤師とかケアマネジャーとか介護職等、色々な方々と十分話をしながら、その連携を強化する。利用者にとって途切れない支援ができ、在宅において安心して生活ができる、そういう医療・介護連携を図っていく。

③ 認知症の関係で、市内に今292名いる認知症キャラバンメイト・ボランティアで行う認知症サポーター養成講座、げんき輝きづくり教室、出前講座を行って、正しく認知症を理解できるように啓発をしていく。

④ 生活支援サービスについては、住みなれた地域で安心して生活ができるような仕組みを一緒に考えていきたいと思う。認知症の方の財産管理、権利擁護ですが、専門職を中心に、市民後見人の普及を含めた成年後見制度の活用や、弁護士、司法書士、医療機関の専門職等のアドバイザー契約を結んで、困難事例、虐待事例のアドバイスをいただいき、市民権利擁護に努める。



認知症キャラバン・メイト養成研修の様子 (久世公民館)

入澤廣成 議員

真庭市のふるさと納税について

問

平成20年度地方税制改革において、ふるさと納税制度が設立され、各県市町村、一人でも、一円でも多く寄付金をいただくためにいろいろな取り組みをしている。鳥取県では、クレジットカードで即時決済ができる分かりやすい専用サイトを開設。米子市は、決済クレジット利用率71%を占め、市と地元企業がタイアップ、PRを兼ねて多彩なプレゼント商品が人気となり、昨年度2億8千万弱と多額の寄付金をいただいている。昨年真庭市には、平成26年2月26日までに201名様から524万5千円の寄付をいただいている。そして、5千円以上の寄付をした皆様には、ワイン、ジャムセット、落合ようかん、銘茶セットなど8種類の特産品から選ぶことになっているが、果たしてこれで良いのか。合併

10年、来年度から交付金も減少する。私は、他県の良いところは取り入れ改善する余地があると思うが、市長のご所見をお伺いする。

答 太田市長

私も就任して、十分できていないことをかなりきつく言い、25年度で139件、278万7千円前年の5倍となつている。6月2日からヤブーの公金収納システム活用したクレジット決済が可能となり、利便性が大きく向上した。やはり効果は大きい。2か月と3分の1で54件、81万円の寄付をいただいている。正直、真庭市はふるさと納税に関しては後発組で、先進事例を参考にしながら貪欲に取り入れていく。8月には真庭の企業からの協賛していただいて、その品物も入れ記念品を充実し、真庭の特産品のPR、販売促進、その相乗効果を狙っていききたいと思つている。さまざまな取り組みを進めることで、今年度は昨年度の2倍、500万円をふるさと納税の獲得目標としている。



ふるさと納税を活用して整備された山麓の里

森田一文 議員

人口減対策について

問



2040年には全国の半数の市町村が20代、30代の女性は半減すると発表している。真庭市も交流定住を軸に行政は展開しているが、全国共通の悩み、いづこもその対策に懸命である。真庭から出ていく流れに歯止めをかける事が急務。普通科の活性化はもちろん、女性中心、真庭市に残る確率の高い家政科の設置、真庭のシンボル、バイオマス科の設置こそ、真庭の使命であると思うが、市長の考えは。

答 太田市長

真庭の将来を考えると大事なことだが、生徒が集まらない現実があるが検討する。

自然環境、社会環境への対応について

問

真庭の環境は恵まれている。すぐれた面、そうでない面もあり、今後どう磨いていくかにかかっている。自然環境は、山、川であり農地も加わる。社会環境も気になっている。①発電の燃料は間伐材9万t。その跡地の手当はできていくか何う。山が荒廃しては発電の意義は半減する。②清流こそ地域の環境のパロメーター、美観の川になるよう、官民協働で努力する必要があると思うが何う。③自分の農地が管理できない状況にある。何かの策があると思うが何う。④常識としてタクシーがいてほしい時、所々に、時としてタクシーがない。コミュニティバスとタクシーの共存の方法を考える必要があると考えるが何う。



勝山の旭川を美しくする会の一斉清掃(勝山地区)

答
太田市長

①間伐は、荒廃を防ぐ。皆伐後は必ず植栽する。②清流は地域を豊かにする。イメージアップにもなる。③農地は農地として利用すべ

き。営農組織の立ち上げを支援する。④コミュニティバスに1億円近い財源がない。これを減らさなくてはならない中、どれだけ利便性向上の対策がとれるか考えていく。

中尾哲雄
議員

問
福祉について

真庭市の人口高齢化率は34.2%。早急な少子・高齢化、人口減少社会の進行で、社会福祉を取り巻く環境は大きく変化しつつある。社会福祉協議会の助成金の減額やカットが決められ、解散や活動の縮小が避けられない状況である。地域福祉センター百楽苑は、旧久世町の福祉活動の拠点として整備された施設で、温泉入浴やデイサービス等が行われている。27年度を最後に補助金の廃止が決められると聞いている。①市の福祉行政の中で社会福祉協議会の位置づけはどのようになっていくのか。②久世・落合で行ってきた福祉行政はどのようになるのか。また、受け皿はどうしていくのか。③社会福祉協議会への補助金を再度考え直す気はあるのかないのか伺いたい。

答
太田市長

①社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体で地域の福祉の中心的役割を担う団体である。②百楽苑は利用料は200円で、一人につき1,124円の維持管理費を出し、900円強の赤字が出てい

る。入浴事業はできないと
思っている。そのかわりに
勝山の水夢を使えるように
し、通所型の介護予防事業
については引き続き百楽苑
において運営をお願いした
い。③現段階で今補助金等
に関する方針を変える考え
はない。



地域福祉センター百楽苑(草加部地区)

河川環境の保全と整備について

問

①久世浄化センター水質管理日報によると高い数値のデータが出ており、砂ろ過池の残留塩素低減工事がされているが機能していないのではないかと。②環境計量士のいる検査機関に委託して実施すると答弁されているが現在の状況は。

答

太田市長

①一個だけ異常数値がある。統計の専門家に見解をいただいても結構だ。②水質検査は公益法人岡山県健康づくり財団にお願いしている。



旭川(久世地内)

岡崎陽輔 議員

子どもの貧困実態と今後の対策について

問

子どもの貧困は年々広がり最新統計では、6人から7人に一人が貧困状態で、過去最高水準である。

本年1月施行の子どもの貧困対策の推進に関する法律は子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、国と地方自治体の責務を明らかにした。真庭の子どもの実態調査等、現場から把握し、声にならない子どもの声を拾い上げて欲しい。また担当を一元化して体制をとり、学力問題では子どもの発達保障の観点から、学習の下支え・支援機能の仕組みを作るべきだ。

答

太田市長

就学援助は小中学校で469人。率は小学校で11.8%、中学校で15.5%である。日本の成熟社会の中で、貧しさ、貧困連鎖が進むという。これは非常に重視して対応しなければ

ばならない問題と思う。国の方針と合わせて対策を打っていく。また子どもの実態が分かるよう教育委員・民生児童委員の協力を得て考える。担当は、子育て支援課を中心にトータルに把握できるようにしたい。



写真はイメージです

答

沼教育長

学習支援は、学習環境を整わない家庭は支援しなければならぬ。実態を十分調査しながら、他市の例を参考に取組んで参りたい。

地域福祉の課題と社会福祉協議会の役割

問

市は真庭市社会福祉協議会助成の適正化に関する方針を発表し、大幅削減の方向を示した。一方的削減でなく、地域福祉課題を明らかにして、過疎化と高齢化、人口減と少子化の中でその中核的役割としての社会福祉協議会と行政がどう解決していくかという中で補助金、助成金問題を捉えるべきだ。

答

太田市長

社会福祉協議会と地域福祉を担う行政は両輪で、今後ますます重要な存在である。社会福祉協議会が本来の形でもっと伸びていくことについては支援していく。

議会の動き

- 4/3 (木) 議会広報編集特別委員会
- 4 (金) 八束こども園開園式 議会運営委員会
- 8 (火) 檜山荘竣工式
- 9 (水) 中国四国酪農大学校入学式
- 11 (金) 臨時会
- 14 (月) 議会広報編集特別委員会 岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟役員会
- 16 (水) 岡山県市議会議長会総会
- 17 (木) 三重県津市議会視察
- 20 (日) 真庭川柳大会
- 22 (火) 核兵器廃絶キャラバン 参画まにわ総会
- 23 (水) 中国市議会議長会定期総会 文教厚生常任委員会
- 26 (土) ラ・ストーリア・ケイズ竣工記念式典
- 28 (月) 産業建設常任委員会
- 30 (水) 落合地域総合センター建築工事起工式

- 国の「地域活性化モデルケース」に選定されました。
- 平成27年度全国水源の里シンポジウムの真庭市開催が決定しました。
- 真庭バイオマス産業都市構想が国から地域選定されました。
- 6月から住民票と印鑑証明の電話予約サービスが始まりました。

- 5/7 (水) 議会運営委員会
- 8 (木) 全国自治体病院経営都市議会協議会 真庭市要保護児童対策地域協議会代表者会議
- 12 (月) 全員協議会
- 13 (火) 真庭市身体障害者福祉協会総会
- 14 (水) 福島県議会視察 岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟視察研修
- 15 (木) 長野県須坂市議会視察 岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟視察研修 真庭市温泉協議会
- 18 (日) 岡山県消防操法訓練大会
- 20 (火) 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会
- 21 (水) 真庭バイオマス集積基地第2工場起工式 茨城県高萩市議会視察 新規就職者激励会 産業建設常任委員会
- 23 (金) 総務常任委員会 真庭観光連盟通常総会 真庭商工会通常総代会
- 26 (月) 中国横断自動車道建設促進岡山県期成会総会 岡山自動車道利用促進期成会総会
- 27 (火) 真庭地区木材組合通常総会
- 28 (水) 全国市議会議長会総会 真庭市遺族会連合会総会
- 29 (木) 真庭市シルバー人材センター定時総会 真庭市人権教育推進委員会総会
- 30 (金) 委員会活動報告会 議会運営委員会 旭川荘真庭地域センター竣工式

- 6/3 (火) 湯原ダム管理連絡会議
- 4 (水) 議会運営委員会
- 7 (土) 国際ソロプチミスト真庭認証20周年記念式典
- 8 (日) 真庭市春季剣道大会
- 9 (月) 本会議(開会)
- 11 (水) 本会議(一般質問)
- 12 (木) 本会議(一般質問) 議会広報編集特別委員会
- 13 (金) 本会議(一般質問)
- 14 (土) 真庭市栄養改善協議会総会
- 15 (日) 真庭CUP綱引き大会
- 16 (月) 本会議(質疑・付託)
- 17 (火) 総務常任委員会 文教厚生常任委員会
- 18 (水) 産業建設常任委員会
- 21 (土) 真庭保健所管内愛育委員連合会・真庭市愛育委員会総会
- 22 (日) 第2次真庭市総合計画策定シンポジウム
- 23 (月) 議会運営委員会
- 24 (火) 横浜市議会視察
- 25 (水) 本会議(閉会) 全員協議会
- 27 (金) 真庭防犯連合会・真庭警察署管内暴力追放推進連合会合同総会
- 28 (土) 真庭農業協同組合総代会

お知らせ

- ・8月7日(木) はんざき祭り前夜祭 8月8日(金)はんざき祭り
- ・8月13日(水)～19日(火)大宮踊
- ・8月15日(金) ひるぜん花火大会
- ・8月13日(水) 18:30～ 中和ふるさと祭り
- ・8月14日(木) 久世夏祭り2014リバーサイドフェスティバル
- ・8月16日(土) 吉の念仏踊
- ・8月22日(金)・23日(土) 勝山町並み路上プロジェクションマッピング



皆さんの声 お待ちしております。



議会広報編集特別委員会では、市民の皆さんのお声をいただき、今後の議会広報紙づくりの参考にしたいと考えています。

広報紙の内容について、また議会や行政に関するご意見ご要望等ありましたら、住所氏名を明記し議会事務局までお寄せください。

宛先

真庭市議会事務局
〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2
☎ (0867) 42-1272 (直通)
FAX (0867) 42-1420
Eメール gikai@city.maniwa.lg.jp

**M-I-Tで議会を
ご視聴ください**
真庭市議会定例会・臨時会は、「真庭いきいきテレビ」のサブチャンネル(122チャンネル)で生中継しています。
また、一般質問や各常任委員会での付託案件の審査は、録画放送しています。
ぜひご視聴ください。

9月定例会の請願・陳情は 8月29日まで

3月定例会 11月末日
6月定例会 5月末日
9月定例会 8月末日
12月定例会 11月末日

※土日祝祭日等の閉庁日は除きます。

※様式等についての問い合わせは議会事務局までお願いします。

なお、請願・陳情1件につき、要望内容は1件でお願いします。複数の要望事項がある場合は、それぞれについて陳情・請願を提出してください。よろしくお願いいたします。

贈らない！求めない！ 受け取らない！

寄附行為等の禁止について

公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄附行為を行うことは禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に暑中見舞いや年賀状を出すことも禁止されています。

また、市民から市議会議員に対して、寄附を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いたします。



夏山へ登ろう！ 写真は蒜山塩釜の石彫公園で行われた山開きの様子

議会広報編集 特別委員会

委員長 氏平篤正
副委員長 原秀樹
委員 入澤成
委員 緒形廣成
委員 草野尚
委員 福島秀一
委員 則